

徳島教育大綱(素案)

徳島県

目 次

1	大綱策定の趣旨	1
2	位置付け	1
3	推進期間	2
4	基本方針	2
5	重点項目	3

1 大綱策定の趣旨

今、我が国は「人口減少」と「災害列島」という国難とも呼べる課題に直面し、第4次産業革命の進展や巨大経済圏の形成をはじめ、国内外の社会環境が劇的な変化を見せるなど、これまでの常識が通用しない「未知の世界」が眼前に広がる時代を迎えています。

本県はこれまで、消費者庁等の「消費者行政新未来創造オフィス」の本県への開設や、全国屈指の光ブロードバンド環境を活用した情報通信関連企業やサテライトオフィスの集積、LEDを基軸とする産業振興や6次産業化のさらなる推進など、数多くの課題解決の処方箋を全国に示してきました。

こうした取り組みをもう一段高い次元へと進化させ、「地方創生の旗手」と呼ばれた徳島が「未知の世界」に挑戦し、日本全体を「持続可能な社会」へと導いていくためには、徳島の未来を担う「人」を育てることが重要です。

本県の未来を担う全ての「人」に、徳島が誇るべき歴史と風土、脈々と受け継がれてきた「進取の気質」をしっかりと継承するとともに、未知なる世界を自ら切り拓き、持続可能な社会を創造する力を育む「徳島ならではの」未来教育を実践するため、徳島教育大綱を策定します。

今後は、この大綱に沿って、徳島の教育力を結集させ、本県の宝である「人づくり」に全力で取り組んでいきます。

2 位置付け

この大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3第1項の規定に基づき、本県における教育、学術、文化及びスポーツの振興に関する総合的な施策についてその目標や施策の根本となる方針を定めるもので、教育分野についての県総合計画の上位の概念として位置づけています。

また、大綱の行動計画として、「徳島県教育振興計画（第3期）」により、本県教育の振興のための具体的な施策や成果目標を示しております。

3 推進期間

令和元年度から令和4年度までの4年間とします。

4 基本方針

「徳島ならではの」の教育により、大きな夢や高い目標を持って、未知の世界に果敢に挑戦する、本県の宝である「人財」の育成を目指します。

**未知の世界に果敢に挑戦する、
夢と志あふれる「人財」の育成**

「人財」の具体像

- ① 人口減少の進行や、超スマート社会「Society5.0」の到来など、社会のあり方が大きく変わる中で、自らの将来をしっかりと見据え、未知の事象に対しても果敢に挑み、主体的に課題解決していく力を身に付け、「未来を切り拓いていく人財」
- ② 人と人、人と地域のつながりの中で、多様性を認め合い、他者を思いやる心と健やかな体を育むとともに、生涯を通じて学び、成長を続けながら「新たな価値を創造していく人財」
- ③ 本県の豊かな自然や世界に誇るあわ文化など、郷土の魅力を実感し、徳島への愛や誇りを持ち、持続可能な社会づくりの担い手として「地域を輝かせる人財」

5 重点項目

基本方針に掲げる「人財」を育成するため、あらゆる分野・世代の教育力を結集し、「徳島ならではの」の特色あふれる未来志向の教育施策を積極的に推進します。

この施策を着実かつ、スピード感を持って展開していくため、組織横断的な体制で取り組むとともに、市町村や関係機関との有機的な連携を積極的に図ります。

重点項目 I

未知への挑戦！未来を創る教育の推進

IoT、ビッグデータ、AIなどの革新技术の加速度的進展により、情報化やグローバル化といった社会的変化が人間の予測を超えて進展する中、新たな時代を豊かに生き、未来を創る人財を育成する教育を推進します。また、国際社会の共通の目標である、持続可能な開発目標（SDGs）の実現に向け、確かな行動ができる人財を育成します。

①持続可能な社会を具現化する「徳島ならではの」教育の推進

1 ○徳島発！新次元の消費者教育の推進

成年年齢引下げを見据えた消費者教育やエシカル消費の普及・啓発など、全国をリードする先駆的な取組を更に充実し、幼児期からのライフステージに応じた系統的・体系的な取組のさらなる充実を図るとともに、SDGsの実現に向けた取組の実践など、新次元の消費者教育を推進します。

2 ○未来で輝く、魅力あふれる学校づくり

徳島モデルの小中一貫教育である「チェーンスクール」、「パッケージスクール」を全県に展開するとともに、保護者の短期居住にあわせて子どもの学校間移動を容易にする「デュアルスクール」をより一層、推進します。

さらに、高校の特色化・魅力化を通じて地域の新たな活力を創出するため、豊かな地域資源を活かした教育プログラムを確立し、地元はもとより県内外から生徒が集う学校づくりを進めます。

3 ○未来を拓く環境教育の充実

豊かな自然を活かした環境保全・美化活動プログラムの整備・拡充や、参加体験型の環境学習の充実を図るとともに、全国展開をリードする水素社会の構築など、エネルギーの効率的な利用についての理解を深め、生命や自然を大切に、持続可能な社会を実現するため、主体的に行動できる人財を育成します。

また、徳島の水環境に関わる特色の理解や水に関わる先人の絶え間ない治水の労苦の歴史や文化、水を汚さない工夫などの健全な水環境の重要性を学ぶ「水教育」に県民誰もが容易に参加できるような環境づくりを推進します。

②「Society5.0」をリードする資質や能力の育成

4 ○先端技術の効果的活用による教育活動の充実

本県の強みである全国屈指の光ブロードバンド環境を活用し、児童生徒一人ひとりの可能性を最大限に伸ばし、変化の激しい社会をよりよく生きる資質・能力を育成するために、ビッグデータやEdTechを活用した個に応じた学習や教科横断的な教育を推進するなど、学習活動の充実に向けた取組を推進します。

5 ○未来を現実にする、プログラミング教育の推進

本県の未来を担う子どもたちが、将来どのような職に就くとしても、時代を超えて普遍的に求められる、論理的・創造的思考力など、「プログラミング的思考」を育むプログラミング教育を、小・中・高等学校を見通した学びの過程の中で、子どもたちの生活や教科等の学習と関連付けを行い体系的に推進します。

③世界に羽ばたく「グローバル人財」の育成

6 ○世界への扉を開こう！徳島育ちのグローバル人財の育成

小学生から高校生まで、全ての英語学習段階における外国人との交流や体験活動の機会の提供及び英語4技能のバランスのとれた育成など、外国語教育の更なる充実を図る取組を通して、外国語によるコミュニケーション能力や総合的な人間力を向上させ、グローバルな視点と地域の視点（ローカル）を兼ね備えたグローバル人財の育成を図ります。

7 ○新しい価値の創出に挑む、クリエイティブ人財の育成

イノベーションを牽引し、グローバルに活躍できる科学技術人材を育成するため、各教科での学習を融合し、実社会での課題解決に生かしていくSTEAM教育の充実、「国際科学オリンピック」に関する講習会の開催や「科学の甲子園」の開催周知、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）における研究成果の普及に取り組みます。

重点項目Ⅱ

夢と志を実現！確かな学びを育む教育の推進

子どもたちが未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成するため、新学習指導要領の着実な実施により、知・徳・体のバランスのとれた質の高い、確かな学びを育み、夢と志を持って、可能性に挑戦し、それを実現できる人財を育成します。

①真の知性を育む「深い学び」の実現

8 ○確かな学力を育む、質の高い、深い学びの実現

「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の推進、カリキュラム・マネジメントの確立といった、新しい時代に求められる資質・能力の育成に向けた新学習指導要領の着実な実施を図るため、大学との連携や研修等の充実により、学力・学校力の向上に取り組みます。

また、地域の課題解決を考える取組や課題研究など、「探究」活動を中心として「深い学び」が実現できる教育を推進し、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等を培い、未来の徳島を牽引する人財の育成を図ります。

9 ○地方創生に貢献する、多様な学びの実現

地域の活性化を目指した特色ある学校づくりの取組や新たな可能性を拓く専門学科の充実、高等教育機関との連携・強化など、一人ひとりの可能性を最大限に伸長する教育を推進します。また、公立学校とともに本県教育の一翼を担う私立学校に対し、ニーズに応えた特色ある学校づくりを支援します。

地方創生に貢献できる創造的実行力を育成するため、県立高校における農・工・商一体教育や学校間連携・生徒間協働、また、全国初の6次産業化をテーマに開設された徳島大学生物資源産業学部との連携による6次産業化教育を推進します。

10 ○価値の創造を加速する、高等教育機関との連携強化

大学との連携による地域の課題解決や教育内容の接続のため、高大連絡協議会や情報交換会を実施し、地域に密着した教育・研究活動や出張講義・公開講座等の地域貢献活動を促進し、連携強化を図ります。

②将来を描き、可能性を最大化する教育の推進

11 ○未来を切り拓く「キャリア教育」の推進

予測困難な時代の中で、多様な人々と関わりながら、自分の可能性を見つめ、様々な課題に対応する力を育成するとともに、人生100年時代を見据え、社会人・職業人としての生き方を描く力の育成を図ります。幼児期から高等学校段階までの体系的な見通しや振り返りを促す「キャリア・パスポート」を活用し、キャリア形成支援の充実を図ります。

12 ○社会を「自分事」として捉える主権者教育の充実

選挙権年齢や成年年齢の引下げを踏まえ、小・中・高校の各段階において、選挙や政治に対する理解を深めるとともに、自ら考え、自ら判断し、より良い社会の構築をめざす意識を醸成するため、模擬投票や高校生サミットなど、体験・探究型学習を充実することにより、主権者を育成する教育を推進します。

13 ○豊かな育ちを支える、幼児教育の推進

県内すべての乳幼児が養育環境に関わらず、生涯にわたる人格形成の基礎を培う質の高い幼児教育・保育を提供するため、保育教諭、幼稚園教諭及び保育士に対する研修の充実など必要な環境整備に取り組むとともに、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながる発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育の充実を図ります。

③成長を支える「豊かな心、健やかな体」の育成

14 ○夢を織り成す、「豊かな心」を育む教育の推進

他人を思いやる心や感謝する心、寛容の心、生命を尊重する心、自然や美しいものに感動する心、正義や公正さを重んじる心、何事にも主体性をもって誠実に向き合う意思や態度など、豊かな心を育むため、地域の特性を生かした様々な体験活動や人々とのふれあいなど、家庭や地域と連携した多様な機会を通じ、道徳性を養う教育の充実を図ります。

15 ○志への原動力！「健やかな体」を育む教育の推進

家庭や地域と連携し、体力・運動能力の向上を図るとともに、運動習慣や望ましい生活習慣の確立のため、飲酒、喫煙、薬物乱用防止に対する正しい知識と理解を深める保健教育や、「徳島ならではの」魅力ある食育の推進を図り、健康について自ら考え、望ましい行動選択ができる子どもの育成を目指します。

重点項目Ⅲ

一人ひとりが輝く！多様性を育む教育の推進

年齢や性別、国籍、障がいの有無等に関わらず、すべての人が安心して暮らし、自立しながら支え合い、個性や能力を発揮して活躍し続けられる「ダイバーシティ徳島」の実現に向けて、多様性を育む教育を推進します。

①個性が輝き、一人ひとりが活躍できる「特別支援教育」の推進

16 ○個々の特性に応じた切れ目ない支援体制の充実

発達障がいを含めたすべての子どもたちが主体的に適切な行動を学ぶ「ポジティブな行動支援」を軸として、学齢期を通じた切れ目ないキャリア教育を展開するとともに、早期から一人ひとりの適性を見だし、伸ばすことで、将来の社会的・職業的自立を目指した教育を推進します。

17 ○みんなが主役！一人ひとりの才能や感性を生かす教育の推進

障がいの種別や程度に関わらず、学齢期を通じて、文化・芸術・スポーツに親しみ、楽しむ機会を増やし、生涯にわたって一人ひとりが個性や能力を発揮しながら、生活を豊かにすることのできる教育を推進します。

18 ○共生社会の実現に向けた教員の専門性の強化

全ての学校（園）において、特別な支援を要する幼児児童生徒が適切な支援・指導を受けられるよう、通常の学級を始め、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校等の「多様な学びの場」を担う教員の専門性を強化します。

②互いに尊重し、支え合う教育の推進

19 ○多様性を認め合い、つながりを実感する人権教育の推進・充実

教職員のキャリアステージや新たな人権課題に対応した研修の推進や、人権教育研究指定校での成果の普及、人権教育指導者用手引書の活用促進により、差別解消と人権尊重社会の実現をめざし、教育活動全体を通じて、「徳島県人権教育推進方針」に基づいた人権教育の充実を図ります。

学校・家庭・地域が一体となり、識字学級との交流やフィールドワークなど、地域から学ぶ機会を大切にするとともに、「中・高生による人権交流事業」や社会教育における研修会などの充実を図り、多様性を認め合う社会をめざし、人権問題解決に取り組む次世代や地域の人材の育成を推進します。

20 ○子どもたちの未来を守る環境づくり

いじめや不登校などの諸課題や児童虐待などの脅威から未来ある子どもたちを守りぬくため、子どもたちの主体的な取組を充実させるとともに、見守り活動やスクールカウンセラーの配置促進、個々のニーズに応じた相談体制の充実等、悩みやSOSを受け止めることができる環境づくりを推進します。

③共に生きる、「多様な力」を育む教育の推進

21 ○共生につなげる、帰国・外国人児童生徒に対する教育支援

帰国・外国人児童生徒に対して、日本語指導はもとより、学校生活や学習支援等の包括的支援を行い、社会への適応、経済的社会的な自立を図るとともに、全ての児童生徒を対象とした多文化共生・異文化理解に基づく教育を推進します。

22 ○世界とつながる教育の場の創造

海外の学校からの教育旅行の受入や学校間交流を充実することにより、教育、文化、スポーツ等の幅広い分野において、世界の多様な文化との交流の中で自他の違いを尊重し合い、コミュニケーションを通じて、ともに問題を発見し解決する能力等、国際感覚を育むための教育を推進します。

重点項目Ⅳ

誰もがいきいき！生涯を通じ、安心して学ぶ教育の推進

新たな時代に対応した質の高い教育を実現するため、児童生徒、教職員が心身ともに健康で、安心して自分の夢を実現できる教育環境づくりを推進します。

また、人生100年時代を見据え、生涯の様々なステージに必要な能力を着実に身に付け、発揮することができるようリカレント教育の充実を図ります。

①生涯を通じた「豊かな学び」の創出

23 ○つながる！支える！できる！家庭教育支援の充実

すべての教育の基盤となる家庭教育に安心して取り組めるよう、関連する情報の提供や、保護者相互の交流・研修の実施、相談対応などの充実を図ります。

24 ○生涯にわたって学び続ける環境づくり

まなびーあ徳島やシルバー大学校、文化の森総合公園や公民館等の社会教育施設を拠点として、生涯学習やライフステージに応じたりカレント教育を推進し、「徳島ならではの学習機会の創出を図り、他者と連携・協働しながら、地域の課題解決や地域振興を主体的に担うことができる人財を育成するなど、子どもから高齢者まで県民一人ひとりが生涯にわたって学び続けられる環境づくりを推進します。

全国初の県立夜間中学を設置することにより、学び直しを必要とする者や、外国籍の者など学校における就学の機会の提供を希望する者に対し義務教育の段階における普通教育に相当する教育機会の確保を図るなど、「徳島ならではの学びのスタイルを実現します。

②とくしまの未来を守る「防災教育」の推進

25 ○「絆」を育む防災教育の推進

南海トラフ地震をはじめとする震災、風水害、火災等の災害から、各自の状況に応じた自助、共助の防災活動ができることを目指し、児童生徒の発達段階に応じて、災害に適切に対応する能力や、主体的に判断し行動する能力を高めるため、家庭・地域・関係機関と連携した防災教育を推進します。

26 ○学校から地域へ広げる防災力の向上

中高校生の防災士資格の取得を支援するとともに、これまで活動の充実を図ってきた学校の「防災クラブ」を中心に、地域と連携した実践的な防災ボランティア活動に取り組むことで、将来の地域防災を担う人財の育成を強力に推進します。

また、防災士の資格を持つ教員を継続して養成し、教員の防災教育に関する指導力向上を図るとともに、避難所となる学校が適切に初動対応できるよう、学校防災体制の強化を図り、地域と協働した防災力の向上に取り組めます。

③すべての子どもが学び、成長する教育環境の充実

27 ○子どもと共に教職員が輝く、質の高い学びの実現

すべての教職員が主体的に学び、自己を高め、学校目標を達成できるよう、教員育成指標を踏まえたキャリアステージに応じた体系的な研修の実施やメンター制による若手教職員の育成など、学び続ける教員を支援する環境を整備します。

すべての教職員が安心して教育活動に専念し、その能力を十分に発揮できる、持続可能な学校づくりを推進するため、県内小中学校への統合型校務支援システムの導入による負担軽減など、学校における働き方改革を推進し、教職員の心身の健康保持・増進、ワークライフバランスの浸透を図ります。

28 ○学校・家庭・地域が一体で取り組む教育の推進

学校と家庭・地域が育てたい子ども像やめざす学校像等に関する学校運営のビジョンを共有し、互いにパートナーとして連携・協働のもとに教育活動を充実させていくことができる「地域とともにある学校づくり」の実現のために、学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）の導入を推進します。

放課後等の多様な学びや体験活動など、地域人材の参画による学校教育活動支援や地域と学校が連携・協働した多様な取組により、地域総ぐるみの教育を実現し、地域の教育力向上や地域の活性化を図ります。

29 ○すべての子どもに均等な教育機会の提供

子どもへの教育機会の提供が生まれ育った環境によって左右されることなく、また、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、学校教育費の負担を軽減し、次代を担うすべての子どもが、将来に夢と希望を持って成長していける社会の実現のため、子どもの貧困対策をより一層、推進します。

重点項目Ⅴ

世界へ飛躍！「徳島ならではの」の文化・スポーツレガシーを創出する教育の推進

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会やその後を見据え、トップアスリートの輩出や、本県が誇る「あわ文化4大モチーフ」に新たな価値を創造するなど、スポーツや文化芸術分野において、優れた才能や個性を見だし、伸ばしていくための教育を推進し、「徳島ならではの」の文化・スポーツレガシーを創出します。

①レガシーを創出「躍動スポーツとくしま」づくり

30 ○未来のトップアスリートの発掘、育成・強化

ジュニア期からの有力選手の発掘に努めるとともに、2022年に四国で開催する全国高校総体に向け、各競技団体と連携しながら、県内トップスポーツ校への継続した強化やお家芸競技の創出に取り組み、国際大会や全国大会等で活躍する、スポーツマンシップを兼ね備えた、真のトップアスリートの育成と強化を図ります。

スポーツ拠点校である鳴門渦潮高校の「スポーツ科学科」の充実した施設・設備を活用し、県外強豪校との対戦・交流や、関係機関、大学との連携により、本県スポーツ科学の普及・振興を図ります。

31 ○生涯にわたりスポーツに親しむ環境づくり

2019年から3年連続で開催される国際スポーツ大会による、スポーツ参画への機運の高まりを一過性のものとすることなく、県民誰もがスポーツに親しむことができる機会・環境の創出を図り、生涯スポーツの一層の普及促進に取り組みます。

②世界に輝く「あわ文化」の創造

32 ○4大モチーフに代表される「あわ文化」の創造・発信

「阿波藍」「阿波おどり」「阿波人形浄瑠璃」「ベートーヴェン第九」の四大モチーフに代表される「あわ文化」に関する教育を充実するとともに、「あわ文化」を次世代に伝承し、ふるさと徳島の魅力を発信する「あわっ子文化大使」など、次代のあわ文化の担い手の育成を図ります。

33 ○優れた芸術・文化に触れる機会の創出

文化芸術の分野を牽引するリーディングハイスクールを拠点とした戦略的な学校づくりにより、一人ひとりの個性を重視し、可能性を最大限に伸長する教育を推進します。

文化の森総合公園を拠点とした魅力ある企画展やイベントの開催、普及事業や出前授業等の実施により、優れた芸術活動に触れ、文化・芸術の感動や体験する機会を創出し、徳島から世界に羽ばたく人財の育成を図ります。

③「ふるさと徳島」への誇りと郷土愛を育む教育の推進

34 ○未来へ発信！世界遺産登録への挑戦

自然の中に息づく「四国八十八箇所霊場と遍路道」、「鳴門の渦潮」の世界遺産登録を実現するため、「資産の保護」と「普遍的価値付け」に向けた取組を推進し、徳島県を代表する文化遺産の魅力に愛着と誇りを持ち、後世への継承を図るとともに、広く世界に情報発信します。

「板東俘虜収容所関係資料」のユネスコ「世界の記憶」登録実現に向け、気運醸成、国内外への魅力発信を推進します。

35 ○郷土の自然と文化を愛し、「ふるさと徳島」への誇りを培う教育の推進

徳島の多様な自然と人々が育み培った「歴史的遺産」に誇りを持ち、郷土を愛する心を醸成するため、「文化財」の持つ魅力や価値を再発見するとともに、新たな「ふるさと徳島」の文化・芸術活動を創出します。

徳島の文化が持つ多彩な魅力を広く国内外に発信するため、伝統文化の継承者など、次世代に繋げる「文化の担い手」の育成を進めます。

36 ○ふるさとの魅力実感！「とくしま回帰」の促進

「ふるさと徳島」の豊かな自然、固有の歴史や伝統、文化等の魅力について子どもの頃から学び、ふれあう取組を推進し、とくしまのよさや強み、課題を考える機会を拡充することで、地域社会に参画する意識を高め、貢献する意欲の醸成を図り、ふるさとへの還流や定着の促進につなげます。